



どんな作品も楽しみながら
他にはない新しい切り口で執筆

Face

ひら や よし き
平谷 美樹さん(57歳)

金ヶ崎町西根在住

小説家。2000年「エンデュミオン
エンデュミオン」で作家デ
ビュー。同年「エリ・エリ」で第1
回小松左京賞を受賞。14年には
「風の王国」シリーズで第3回歴
史時代作家クラブ賞シリーズ賞
受賞。妻と母と3人暮らし。

企画展案内

「平谷美樹の王国」&トーク

期日 6月10日(土)～7月2日(日)

場所 金ヶ崎町立図書館

詳しくは図書館だより(P16)

小説家として数多くの作品を生み出
す美樹さん。「苦労はあるが大変ではな
い」とどんな作品も楽しみながら書き上
げ、その筆が止まることはない。

美樹さんが小説を書き始めたのは小
学生のころ。「小学生のお小遣いで買え
る本の数は限られているため、読めない
なら自分で書いてみよう」と思ったこと
が小説家への第一歩だという。最初は探
偵小説からはじまり、小中高、大学時代
にもSFやマンガなど物語を描き続け
ていた。そして、中学校の美術教師とし
て教壇に立つかたわら執筆を続け、SF
小説家としてデビュー。現在までに発表
した作品はシリーズを含め70冊以上に
及ぶ。

SF小説からスタートし、これまで怪
談シリーズ、歴史時代小説も執筆。代表
作「義経になった男」を皮切りに今では
歴史作品が一番多いという。「どんな作
品でも新しい切り口で描くことを意識
しているので、歴史小説にもSFの観点
を取り入れることもある」と多彩な作品
を生み出している美樹さんだからこそ
できる物語がそこに詰まっている。

美樹さんは小説の他に自身の作品の
イラストまで手掛けている。今後は「執
筆のほか、イラストや小説の書き方など
の講座を開き教える活動にも力を入れ
たい」と意欲をみせていた。

みなさんもこの機会に美樹さんの世
界を体験してみたいかがでしょうか。

広報日記



▽写真がなかなか上達しな
い今日この頃。

▽今回の表紙撮影は前回の
母校永岡小学校に引き続き
母校の金ヶ崎中学校体育祭
に取材に行ってきました。

天候はあいにくの雨。しか
し、生徒たちのやる気に満
ち溢れた顔見ていると私も
雨を忘れシャッターを切っ
ていました。夢中で撮影し
たものの、確認するとやは
りブレブレの写真が多
数……。これからも日々
精進してまいります。

▽今回の表紙のブルー組団
は私が中学の時と同じ色の
組団。次回の表紙はいつた
いどの母校に!! (阿部)

金ヶ崎町の 花鳥木



町の花
「さつき」



町の鳥
「やまどり」



町の木
「すぎ」